



平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年1月31日

上場取引所 東

上場会社名 リソルホールディングス株式会社

コード番号 5261 URL <http://www.resol.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 多賀 道正

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 大澤 勝 TEL 03-3344-8821

四半期報告書提出予定日 平成29年2月14日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無： 無

四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績（平成28年4月1日～平成28年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	16,101	△1.9	994	△16.5	859	△20.0	539	△37.4
28年3月期第3四半期	16,417	15.0	1,191	185.1	1,075	186.4	861	47.4

(注) 包括利益 29年3月期第3四半期 546百万円 (△36.6%) 28年3月期第3四半期 863百万円 (45.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	9.70	-
28年3月期第3四半期	15.50	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第3四半期	31,839	11,078	34.7	199.02
28年3月期	34,430	10,807	31.3	194.18

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 11,056百万円 28年3月期 10,787百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	-	0.00	-	5.00	5.00
29年3月期	-	0.00	-	-	-
29年3月期(予想)	-	-	-	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	22,000	4.6	1,600	19.9	1,500	24.9	1,300	28.0	23.40

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
 新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年3月期3Q	55,642,000株	28年3月期	55,642,000株
② 期末自己株式数	29年3月期3Q	88,511株	28年3月期	87,802株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年3月期3Q	55,553,872株	28年3月期3Q	55,554,760株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来性に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の各種経済政策や日銀による金融政策等を背景に、企業収益や雇用、所得環境の改善が続き、緩やかな回復基調にあるものの、個人消費の改善につきましては、足踏み状態が見られております。先行きに関しても、英国のEU離脱問題や米国の大統領選挙の影響による世界経済の不確実性の高まりなど、依然として不透明な状況が続いております。

このような経営環境の下、当社グループでは今夏発表した長期経営目標の達成に向け、積極的に事業の推進を図りました。また、長期方針である「人にやさしい」「社会にやさしい」「地球にやさしい」の3つの「やさしい」をすべての事業を通じて実現することにより、お客様に喜んでいただき信頼される企業になれるよう公正な企業活動の実践に努めてまいりました。

好調なホテル事業においては、インバウンドの集客強化、ビジネス需要等の取り込みが順調に推移したことにより、宿泊客数・客室単価ともに前年を上回り収益に寄与しました。特に「ホテルリソル函館」で北海道新幹線の函館開通にあわせて実施した“リビングロビー”等のリノベーションや“情報閲覧サービス”等の新しいサービスが好評を博し売上は大幅に増加しました。

ゴルフ事業におきましては、天候の影響を受けたものの、「健康・絆」の商品企画、健康イベント企画を拡充し、満足度向上を図ることにより、入場者数は前年を上回りました。また、ゴルフ場の新たな収益源としてバンケット収益等の附帯収益確保に力を入れました。

開発事業におきましては、当社連結子会社において、ゴルフ場内の販売用土地を売却するとともに、兵庫県のゴルフ場を売却致しました。一方で、京都および東京の新築ホテル2件の賃貸借予約契約を締結しました。

次期収益源である太陽光等の再生可能エネルギー事業では、広島県の「瀬戸内ゴルフリゾート」の隣接地で出力規模約2メガワットのメガソーラーの売電を開始するとともに、福島県のゴルフ場においても大型の開発を進め事業基盤の拡大を図りました。

将来の事業と目する地域創生推進事業では、千葉大学及び千葉県長柄町と連携し、リソル生命の森での「大学連携型CCRC」の事業化に着手いたしました。本格的なスポーツ・レクリエーション施設を備えた日本初の形態を目指します。

福利厚生事業におきましては、「ライフサポート倶楽部」の会員をはじめとする各種会員の拡大に努めました。また、会員企業の「健康経営®」支援に向けた健康プログラムの拡充等、企業の従業員がイキイキと働ける環境づくりを応援するほか、多世代交流型リゾートコミュニティ「リソル生命の森」（千葉県）と連携した「健康・絆」のオリジナルメニュープログラムの充実で他社差別化を図りました。

リゾート関連事業におきましては、ゴルフ・リゾート会員権では、市場が低迷する中、法人の買い替えニーズや個人富裕層の売買ニーズの取り込みに注力するとともに、別荘や保養所等のリゾート不動産の販売を行いました。

当第3四半期連結累計期間は、ホテル等の集客が好調に推移するものの、販売用不動産の引渡し第4四半期に集中していることや市場の低迷が続くゴルフ・ホテル会員権の販売が低調に推移する等により、売上高は16,101百万円（前年同四半期比1.9%減）となり、ゴルフ場の夏場のゴルフコース管理コスト他経費の増加等により、営業利益は994百万円（前年同四半期比16.5%減）、経常利益は859百万円（前年同四半期比20.0%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は539百万円（前年同四半期比37.4%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、31,839百万円となり、前連結会計年度末に比べて2,591百万円減少しております。これは主に売掛金、販売用不動産の減少等によるものであります。負債につきましては、20,760百万円となり、前連結会計年度末に比べて2,862百万円減少しております。これは主に預り保証金の減少等があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年5月13日発表の通期の連結業績予想につきましては、計画が順調に推移していることから変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当しておりませんが、第1四半期連結会計期間より、非連結子会社であったリソルアドベンチャー株式会社は重要性が増したため連結の範囲に含めております。

また、当第3四半期連結会計期間において、リソルペットアンドスパホテルズ株式会社を設立し、連結の範囲に含めております。さらに連結子会社でありました兵庫カンツリー倶楽部株式会社を売却したため、連結の範囲から除いております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用）

法人税法の改正に伴い、平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

この変更による当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(4) 追加情報

（繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用）

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を第1四半期連結会計期間から適用しております。

表示方法の変更

（四半期連結損益計算書関係）

前第3四半期連結累計期間において「営業外収益」の「その他」に含めて表示しておりました「受取保険金」は金額的重要性が増したため、当第3四半期連結累計期間では区分掲記することといたしました。この結果、前第3四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書において「営業外収益」の「その他」に表示していた1,569千円は「受取保険金」として組替えを行っており、「営業外収益」の「その他」に表示していた19,804千円から18,234千円となっております。

また、前第3四半期連結累計期間において「営業外費用」の「その他」に含めて表示しておりました「支払手数料」は金額的重要性が増したため、当第3四半期連結累計期間では区分掲記することといたしました。この結果、前第3四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書において「営業外費用」の「その他」に表示していた19,098千円は「支払手数料」として組替えを行っており、「営業外費用」の「その他」は45,638千円から26,540千円となっております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,162,482	1,825,515
売掛金(純額)	1,648,833	988,133
商品	147,531	132,432
販売用不動産	3,948,996	3,386,912
貯蔵品	79,001	75,912
未収入金(純額)	478,740	253,596
その他(純額)	1,012,357	1,319,093
流動資産合計	9,477,942	7,981,596
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,626,380	4,491,864
土地	14,748,416	14,734,009
その他(純額)	1,337,967	835,864
有形固定資産合計	20,712,764	20,061,738
無形固定資産		
のれん	1,786,227	1,658,835
その他	653,998	584,759
無形固定資産合計	2,440,226	2,243,594
投資その他の資産		
投資その他の資産合計	1,799,519	1,552,132
固定資産合計	24,952,510	23,857,465
資産合計	34,430,453	31,839,062

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	544,584	478,504
短期借入金	2,500,000	1,400,000
1年内返済予定の長期借入金	1,905,776	4,284,641
未払法人税等	94,306	112,681
賞与引当金	111,620	65,626
役員賞与引当金	20,000	-
その他	3,179,413	1,832,284
流動負債合計	8,355,701	8,173,737
固定負債		
長期借入金	7,440,367	5,538,395
預り保証金	6,156,592	5,562,520
退職給付に係る負債	530,196	531,689
従業員特別補償引当金	80,390	68,640
資産除去債務	103,935	105,300
その他	955,621	779,899
固定負債合計	15,267,103	12,586,446
負債合計	23,622,804	20,760,183
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,948,088	3,948,088
資本剰余金	2,400,716	2,400,716
利益剰余金	4,179,324	4,442,862
自己株式	△19,209	△19,430
株主資本合計	10,508,918	10,772,236
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1,927	2,183
土地再評価差額金	299,646	299,476
退職給付に係る調整累計額	△19,338	△17,500
その他の包括利益累計額合計	278,380	284,159
非支配株主持分	20,349	22,483
純資産合計	10,807,648	11,078,878
負債純資産合計	34,430,453	31,839,062

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	16,417,109	16,101,987
売上原価	5,654,794	5,408,330
売上総利益	10,762,314	10,693,656
販売費及び一般管理費	9,571,042	9,699,089
営業利益	1,191,271	994,566
営業外収益		
受取利息	1,480	89
債務消却益	9,909	2,510
受取保険金	1,569	13,340
投資事業組合等利益	-	708
受取賃貸料	7,922	9,929
その他	18,234	27,490
営業外収益合計	39,117	54,069
営業外費用		
支払利息	96,673	105,708
投資事業組合等損失	12,994	-
支払手数料	19,098	47,403
その他	26,540	35,850
営業外費用合計	155,306	188,962
経常利益	1,075,082	859,674
特別利益		
固定資産売却益	-	6,337
営業補償金	19,349	109,760
違約金収入	-	40,000
特別利益合計	19,349	156,097
特別損失		
事業所整理損	4,424	-
固定資産売却損	15,495	-
固定資産除却損	-	4,780
和解金	32,059	5,418
会員権買取取消却損	-	76,731
減損損失	-	33,786
貸倒引当金繰入額	-	82,999
その他	432	3,451
特別損失合計	52,411	207,168
税金等調整前四半期純利益	1,042,021	808,603
法人税、住民税及び事業税	151,302	114,100
法人税等調整額	25,225	153,328
法人税等合計	176,528	267,429
四半期純利益	865,492	541,173
非支配株主に帰属する四半期純利益	4,326	2,133
親会社株主に帰属する四半期純利益	861,166	539,040

(四半期連結包括利益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)
四半期純利益	865,492	541,173
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,445	4,110
退職給付に係る調整額	—	1,838
土地再評価差額金	—	△169
その他の包括利益合計	△2,445	5,779
四半期包括利益	863,047	546,953
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	858,720	544,820
非支配株主に係る四半期包括利益	4,326	2,133

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						調整額 (注①)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注②)
	ゴルフ 運営事業	ホテル 運営事業	開発事業	福利厚生 事業	リゾート 関連事業	計		
売上高								
(1) 外部顧客への売上高	7,414,474	6,508,309	867,543	842,577	784,204	16,417,109	—	16,417,109
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	7,414,474	6,508,309	867,543	842,577	784,204	16,417,109	—	16,417,109
セグメント利益 又は損失(△)	753,475	753,342	583,998	△292,160	59,685	1,858,341	△667,069	1,191,271

(注) ①. セグメント利益又は損失(△)の調整額△667,069千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

②. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						調整額 (注①)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注②)
	ゴルフ 運営事業	ホテル 運営事業	開発事業	福利厚生 事業	リゾート 関連事業	計		
売上高								
(1) 外部顧客への売上高	7,323,693	6,479,132	861,292	808,173	629,695	16,101,987	—	16,101,987
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	7,323,693	6,479,132	861,292	808,173	629,695	16,101,987	—	16,101,987
セグメント利益 又は損失(△)	675,249	1,028,623	578,988	△354,623	△45,656	1,882,581	△888,014	994,566

(注) ①. セグメント利益又は損失(△)の調整額△888,014千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

②. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「リゾート関連事業」において、事業用資産について減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては33,786千円であります。